

@幸せな贈り物

スターストレス 2月11日に48歳の年齢でホテルの部屋の浴槽で亡くなって発見されたホイットニー・ヒューストン (Whitney Houston)、東亜日報イ・ヒョンサム論説委員が書いた文を読んでもみると、成功したスターが体験するストレスと困難について共感するようになりました。自殺の痕跡は発見されなかったのですが、死因は薬中毒と推定されるみじめな死でした。1億7,000万枚のレコードが売れ、グラミー賞 (Grammy Award) を6回ももらったのに、晩年にはお金もなくなり周辺に「100ドルだけ借してください!」とすがったと言われています。20年前の映画「ボディガード」で見せた黒真珠のような姿は、行き場所もなく、最近ハリウッドでときどき目撃された彼女は、まちががなく、ホームレスの惨状でした。結婚を失敗して酒と薬が美貌、美声、美声の人生を奪い取りました。

ウォン・グァンテ教授チームが2001~2010年、職業別平均寿命を調べたところ、芸能人が65歳で最も短命でした。1990年代から10歳も低くなりました。自殺した芸能人は、統計から抜いたのに、この程度でした。出世に向かったストレス、そして早い年齢でお金と名声を得て、自己コントロールが難しくなったことが、寿命短縮のおもな原因として選ばれました。歌手のキム・

チャンファン、コメディアンイ・ギョングユなどのいろいろな芸能人が病んだというパニック障害のおもな原因も「慢性化したストレス」です。突然、頭をくりくり刈ってしまった芸能人はたいていストレス性脱毛患者です。

芸能人は、他人の視線に合わせて生きていきます。自分がなぜ生きているのかを考えてみる余裕もなく、我を忘れて押されて生きていると、いつの間にか、はつらつした後輩が前の波を押し出そうと押しよせてきます。スターが存在理由を大衆に「オールイン」すると、人気落ちたとき、その瞬間を耐えられないで、薬やアルコールに手を付けやすいのです。「チェ・ジンシルが自殺したとき『私もいっしょに死にたい』と話した芸能人が一人や二人ではなかった」と演芸企画会社関係者が伝えました。ある女優は「どこへ行っても、いつもカメラがあると感じて、顔の角度から手の動きまで意識する」と告白します。スターは、観衆の歓呼を聞きながら綱渡りをする軽業師の人生です。スターたちは、どのようにストレスを解消しながら生きていっているのでしょうか。ブリトニースピアーズは、結婚生活から来るストレスを暴食で解消して、離婚後には麻薬とアルコールに手をつけ、下着姿で通りを闊歩するなど露出症状を見せ、リハビリ施設に入って治療しなければなりません。マ

成功が 成功では ありません



ドンナ、ジャネット・ジャクソン、パリス・ヒルトンも果敢な露出でストレスを解消しており、猛スピード運転、過度なショッピング、パーティーなどでふんだんに楽しみながらストレスを解消しているということです。リンジー・ローハンはダイエットに対する圧迫感に勝てずに、拒食症になったり食べることができないストレスを解消するために一日10万ドル以上の物を買ったりもしました。多くのスターがパーティー、アルコール、麻薬、繰り返す整形中毒に陥ったりもします。

韓国の芸能人のストレス解消法を見ると、夜を明かしてお酒で解消する酒派、体力は国力だと言って運動でストレスを飛ばすという運動派、特別にサッカーでストレスを解くというサッカー派、特別なことがなければ毎日走るという競走派、筋肉をつけながらストレスを解くヘルス派、アマチュアボクシング選手権大会に参加してチャンピオンに上がったイ・シヨンのようなボクシング派、またいっしょにラウンドしてストレスを解消するゴルフ派、食べてしゃべることでストレスを解消するという食事派、ひとしきり体を動かしてストレスを解消するというダンス派、何人かが集まってゲームでストレスを解消するというゲーム派、ヒョン・ヨンのようにいつも寝る前30分間読書をしながら一日を整理してストレスを解消するという読書派、そして、ショッピング派などがあります。あなたはストレスをどのように解消しているのですか。はたして、人間はストレスなしで生きていくことはできないのでしょうか。

ストレスのはじまりと終わり 「ストレス」はどこから始まったのでしょうか。本来、ストレス (stress) ということばは、ラテン語「ストリンゲル」(stringer) で、「ピンと張って引き締める」という意味から由来しています。14世紀になって「ストレス」(stress) という用語で一般的に使われ始め、当時は「苦悩、抑圧、困難、逆境」などを意味しました。17世紀には、物理学と関連した「物体を変形させるある力の作用によって起きる内部的な力」として定義され、18世紀以後に人体に及ぼす外部的な力に対する抵抗および回復に関連した医学的用語で使われました。そして、19世紀以後、ストレスが精神疾患および健康に有害だという漠然とした考えが医学者や心理学者などによって提起されて、20世紀に入って、病気の発生において感情反応の役割を認識して安定状態を威嚇するおもな要素がストレスであるということが明らかになるようになりま

した。

ストレスに関する世界的権威者であるハンス・セリエ (Hans Selye) は「私たちは完全にストレスを避けることはできない。それは不可能だ。しかし、ストレスに対する典型的な反応を認知して、賢明な対処方法を探しながら私たちの生活を調節するように努力しなければならない」と話しました。一方、ストレスは「人生の薬味」ということばもあります。事実、はっきり調べれば、人間に最も大きいストレスは「ストレスがないストレス」だと言われています。「倦怠地獄」ということばが意味するように、することがないほど苦しいことはありません。

ところで、聖書が語っているストレスの根源的な解決は次のようです。最初に創造された本来の人間は、神様とともにいて、ストレスがなかった人間でした。しかし、神様を離れた後、人間自らでは神様を離れた原罪と、それによってくるしかない生年月日による運命と運勢、のろいと災い、地獄とサタンの問題を解決できなくなりました。神様は人間が解決できない、このような根本的な問題を解決して下さるために「キリスト」を約束してくださいました。キリストはこの世に來られて十字架で死んで復活されることによって、神様を離れたすべての人間が神様に会える道を開いてくださいました。(ヨハネの福音書 14:6) キリストは、十字架で私たちの罪の代わりに死なれることによって、私たちのすべての罪を解決して下さり、のろいと災いから解放して下さりました。(マルコの福音書 10:45、ローマ人への手紙 8:2) キリストは死から復活され、今でも人間を困らせて地獄に引っ張っていくサタン(悪魔)のすべての権威を完全に打ちこわされました。(ヨハネの手紙第一 3:8) キリストは、運命と運勢がもたらすすべてのストレスを完全に解決されました。その「キリスト」(Christ) がまさに「イエス」(Jesus) です。今、キリストであるイエス様を信じて心に受け入れれば永遠な神様の子どもになり、すべての運命のストレスから解放されることができます。

「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。わたしは心優しく、へりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすればたましいに安らぎが来ます。わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。」 マタイの福音書 11:28~30

キリストの受肉

宗教と福音は違いがあります。宗教は「人間がどのように正しく生きるのか」を話します。しかし、福音はもう一つあります。「生きること以前に、どのように救われるのか」そして、宗教は罪を犯すなど教えますが、罪問題を根本的に解決することはできません。しかし、私たちが解決できない原罪と罪の問題を解決するのが福音です。

宗教は、人間が作ったものですが、福音は神様がくださったものです。宗教はどこかを訪ねて行かなければならず、努力をしなければならぬのですが、福音は神様が私たちに来られたのです。聖書が語る福音は、人間を根本的な問題から自由にして解放させることです。それで恵みだと言われ、信じなさいと言われるのです。

聖書は私たちに生活よりさらに重要な問題解決を語っています。「すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず」(ローマ人への手紙 3:23) **神様を離れた以後「義人はいない。ひとりもいない。」**(ローマ人への手紙 3:10) と言われています。それで結局「**罪から来る報酬は死です**」(ローマ人への手紙 6:23) と言われました。ですから、人間は成功しても理由なく迫ってくる霊的問題に勝つことができないのです。この問題は、努力、哲学、宗教では解決しません。

人間の人生は、自分も知らない間に海賊船に乗ったのと同じです。根本的に罪人の船に乗ったのです。そこでは、いくら善を行っても海賊船から抜け出さない以上、何もだめなのです。むしろ、海賊船に乗った人が善良なほど、勤勉なほど、悪い人になるのです。神様がご覧になる時は、人間が自分も知らない間に「サタンの船」に乗ったのです。ですから、サタンがもたらす霊的問題がくるしかありません。それゆえ、人間には救い主が必要です。

人間自らは神様を離れて罪に堕ちて、生年月日による運命に捕われ、やむを得ず行かなければならない地獄とサタンの問題が解決しないから、神様が救い主を送ると約束してくださったのです。私たちの風邪を直そうというのではなく、私たちがいくら努力してもだめな部分のためにキリストを送られたのです。ところで、すべての人間が本来、罪人(アダム)の子孫だから、人間は救い主になることができません。それで、神様が直接人となって来られ、人間を救うことにされたのです。それで聖霊の力で処女のからだに身ごもって生まれ、人のからだとなってこの世に来られました。そして、十字架で死んで復活されることによって、すべての人間がとうてい解決できなかった根本的な罪、サタン、地獄の問題を一気に終わらせてくださいました。「**完了した!**」(ヨハネの福音書 19:30) だれでもイエス様を信じれば神様ご自身が聖霊で永遠にともおられるようになります。これが救いの祝福です。

「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです。」

(ヨハネの福音書 5:24)

神様の子どもになる 受け入れの祈り

愛の父なる神様。私は罪人です。今まで神様を離れ、サタンの支配の下に縛られて、奴隷のように生きて来ました。しかし、今、この時間、イエス様を私の救い主、私の神様、私のキリストとして受け入れます。イエス・キリストは、神様に会う唯一の道であり、サタンの権威を打ち砕かれ、すべての罪とのろいと災いから私を解放してくださいましたキリストであると信じます。いま、私の中に入って来てくださり、私の主人になってください。今から私の生涯を細かく導いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

神様の子ども 毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。

今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。私の家庭と現場と行くところごとに福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。そして、私の生活を通してイエス様がキリストであるということがあかしされ私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



時間を買う

知恵

この頃の人々はとても忙しい。業務推進を通して成果を上げなければならない会社員はそれは仕方ないかもしれないが、大きな声を出して思いきり飛び回らなければならない子どもたちでさえ、勉強のあとからも終えなければならない一日のスケジュールが疲れてだるいほど多く見えるのが痛ましい状況だ。現代科学は、人々の生活をゆっくりのろく生きてもまわらないほどの時間的自由を十分に提供している。歩いて行かなければならないところを自動車や飛行機など運送手段を活用するので、距離は問題にならない。それだけ時間を残せて余裕がある生活を送れるのに、時間と速度との競争は終わりが無い。学習過程を通して形成されなければならない長い時間が必要な知識の蓄積も、過度な情報提供で危機の限界を越えている。ある医師が言うのに、このごろの患者は、自分の病気の部分をインターネットを通じた最近知識情報を通して学習して来るので、ある場合は専門医師より多くの用語と治療法を知っていて、当惑するという。

このように時間を操り上げて多くの時間を貯蓄しておいた人々がなぜ時間を支配できなくて、時間の奴隷で生きているのか気になる。人が最高の時間を与えられる機会は生まれた直後であろう。一生が機会として与えられているので、多くの機会を得ることができるだろう。しかし、結局、少し時間が過ぎれば地球上の普通の人々がそうであるように、時間に追われる生活を送るようになる。結局、人間の時間は一生という時間の中に縛られた時限付き人生であるわけだ。死ぬ日を知らないから多くの時間が残っていると気楽にしているが、結局、ある日、その時間がくれば、私たちの先祖が歩いていった時間が停止した場所に上がるようになる。その人が必死に

成就しようと忙しく走って行った時間と仕事は、ある瞬間、停止するようになる。それなら、生きている間にすべき、優先的なことは、普段に時間を稼ごうとそのように努力した価値を生かして永遠という時間を見つけて、それを先に確保しておくことに関心を持つべきであろう。時間は目に見えないが、速度を通して時間を確認するように、永遠の時間も目に見えないが、死を通して、そのすさまじい速度を通して、今日を確認できる。

先祖のからだを通して私たちの今日が存在するように、私たちのからだを通して次世代が存在するだろう。しかし、肉体の人生を離れたたましいの価値は、永遠という時間の中だけで意味を見つけるようになる。時間は肉体のからだに限界を作るようにさせる理由になるが、永遠は肉体を抜け出したたましいの価値を自由に味わうようにするところになる。人間に永遠の価値である時間の価値を回復するのがまさに救いだ。肉体の時間は私が味わうことができるとしても、たましいの価値は私の思いどおりにはできない。ただし、肉体の生活を送る間、委託しておいた時間の中でその時間を確保しておける知恵は人間にある。

100年すら生きられない人間の生のために創造者をご自身の価値を崩して人間のからだをとってこの世に来られたのではない。永遠を生きなければならない人間なので、その価値をのがした人間にその機会を見つけるようにさせようと、神様は今あなたを呼んでおられるのだ。とても忙しくて、その救いの声を聞けないのが問題の中の問題だが、それでも聞かなければならない声が救いの声だ。

急いで結婚すれば暇なときに後悔するように、とても忙しく生きていてたましいのメッセージを聞けなければ、永遠の時間をのがすようになるのだ。いくら忙しくても、少しの間、時間をあけて永遠の時間を買う知恵を今得てほしい。

チョン・ヒョングク(福音コラムニスト)

* 相談したい方はこちらまでどうぞ